

モデル思考ワークショップgPBL(タイ PSU 受入)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月17日 ～2019年07月29日	日本	プリンスソングラ大学	・デザイン工学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生22名、TA10名、教員3名 (プリンスソングラ大学) 学生20名、教員2名	野田 夏子(デザイン工学科)、山崎 憲一(デザイン工学科)、櫻木 新(デザイン工学科)



図1 ドラムサークル

本学デザイン工学科1～3年生、タイ Prince of Songkla University, Phuket Campusの学生が参加し、ソフトウェア開発で用いられるモデリング技術を使って、「Friend Robotを作ろう」というテーマで、ロボットの企画、ロボットを制御するソフトウェアの設計を行い、さらに実装を行うワークショップを実施した。それぞれの大学から3名ずつ計6名の学生でチームを組み、チーム毎にオリジナリティあふれるロボットの製作を行った。モデリング技術やプログラム言語について既修の学生とほとんど知識のない学生がチームを組むことになったが、それぞれの得意分野を生かして互いに教え合い、知識を補いあって、ひとつの作品を完成させることができた。参加学生は、チームでの作業を通して実践的な英語力の向上を図るとともに、モデルという別の形の言語を使って考えを表現し説明する力をつけることができたと考えられる。

また、ワークショップ開始時にはアイスブレイキングのために、学外講師によるドラムサークルを実施したが、初対面の参加者と打ち解け、よい雰囲気の中でワークショップをスタートさせるために有効であった、と好評であった。英語力、技術力、コミュニケーション能力の向上のために、総じてよい効果をもたらしたプログラムであったと考える。



図2 グループワーク:モデリング



図3 グループワーク:ロボット製作



図4 成果発表